

科目番号	25-302-69	学期	A セメスター	単位数	2
法学部との合併	有	法科大学院との合併		受入学生	修博
他コースとの合併		他研究科との合併	有	公共政策	
担当教員	松井 智予・加藤 貴仁				
題目	金融法				
授業の目標・概要等	この講義では、金融実務に詳しい実務家をゲストとして招いて実務の現状や実際に生起している問題点などを具体的に話してもらい、それに基づいて理論的な分析や展望などを試みる。				
授業計画	<p>以下は、おおむねの予定であり、変更があり得る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 金融法制概観—金融法の範囲、金融の基礎概念、金融分野と民法・会社法との関係、銀行法・金融商品取引法等の業法（監督法）との関係など 2 FinTech 関連法 1 3 FinTech 関連法 2 4 決済法制 5 シンジケートローン関連法 6 デリバティブ関連法 7 運用商品関連法 8 証券業務関連法（その1）—社債発行・引受業務、社債管理、その他証券流通関係 9 証券業務関連法（その2）—LBO、MBO、利益相反 10 証券業務関連法（その3）—流動化・証券化 11 リスク管理—大口信用供与規制、信用リスク管理、統合的なリスク管理態勢、VaR を活用したリスク管理の実際など 12 銀証分離規制—沿革と現在、銀証兼職規制など 13 金融法制の展望（最近の法改正と今後の課題等） 				
授業の方法	講義形式による。				
成績評価の方法	筆記試験による。				
教材・主要文献等	<p>【教科書】神田秀樹・神作裕之・みずほフィナンシャルグループ『金融法講義 新版』（岩波書店、2017年）</p> <p>【参考書】参考文献については、講義の中で適宜、指示する。</p>				
履修上の注意	伝統的な与信取引・受信取引・為替取引については、すでに一定の理解があることを前提に講義を進めるので、上記教科書の「第I部 伝統的銀行取引（第2章から第4章まで）」を講義が始まる前か、講義開始後速やかに通読しておいてほしい。				

使用言語	日本語のみ
開講年度の予定	